

メロン・ベンヴェニスティ氏 講演・対談

イスラエル建国世代の功罪と占領支配を 目撃してきた政治学者が、パレスチナの 〈破壊の歴史〉と〈共生の未来〉を語る

2010年3月15日（月）16:00-18:00

講演 “Jews and Arabs: Intimate Enemies”

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム3

使用言語：英語（通訳なし） 入場無料、事前登録不要

2010年3月16日（火）14:00-17:00

対談 「パレスチナとアイヌ、入植と征服の歴史比較」

メロン・ベンヴェニスティ × 上村英明 × 岡田泰平

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム3

使用言語：英語（日本語通訳あり） 入場無料、事前登録不要

Meron Benvenisti

1934年エルサレム生まれ、政治学者。エルサレム副市長として東エルサレム行政に携わり（70年代）、ヨルダン川西岸地区データベース・プロジェクトでユダヤ人入植地を総合的に分析し（80年代）、以降現在までイスラエルの占領支配を内部から厳しく批判してきた。主著は、*Intimate Enemies: Jews and Arabs in a Shared Land* (1995)、*Sacred Landscape: Buried History of the Holy Land Since 1948* (2000)、など多数。

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

University
of Tokyo
Center
for
Philosophy